

ゼフィックス錠 100

【この薬は？】

販売名	ゼフィックス錠 100 Zefix Tablets
一般名	ラミブジン Lamivudine
含有量 (1錠中)	100mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するとき特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」<http://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、抗ウイルス剤と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、B型肝炎ウイルス（HBV）の増殖を抑えることによりウイルス量を減らします。
- ・次の目的で処方されます。

B型肝炎ウイルスの増殖を伴い肝機能の異常が確認されたB型慢性肝疾患におけるB型肝炎ウイルスの増殖抑制

- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

- この薬の使用終了後には肝炎の症状が重くなることがあるため、使用終了後少なくとも4ヵ月間は原則2週間ごとに検査が行われます。
特に、過去に黄疸がみられた人、過去に急性増悪を起こしたことのある人などの免疫応答の強い人や、非代償性肝疾患の人は、この薬の使用終了が困難となり、長期に使用することが必要となる場合があります。
- 次の人は、この薬を使用することはできません。
 - ・過去にゼフィックス錠に含まれる成分で過敏症のあった人
- 次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。
 - ・HIVに感染している人
 - ・腎臓に障害がある人
 - ・免疫応答の強い人
 - ・非代償性肝疾患の人
 - ・肝移植を受けた人
 - ・肝臓に重度の障害がある人
 - ・妊婦または妊娠している可能性のある人
 - ・授乳中の人
- この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。
- 肝炎ウイルス検査が行われます。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

特に腎機能障害がある人は、慎重に飲む量が決められます。

通常、成人の飲む量および回数は、次のとおりです。

1回1錠を1日1回飲みます。

●どのように飲むか？

コップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

決して2回分を一度に飲まないでください。

気がついた時に、1回分を飲んでください。ただし、次に飲む時間が近い場合は1回とばして、次の時間に1回分飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

異常を感じたら、すぐに医師に連絡してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・この薬の服用を中止すると肝機能の悪化やB型肝炎の症状が重くなるがあるので、自己判断で服用を中止しないでください。
- ・この薬を飲んでいる間は、定期的に肝機能検査が行われます。
- ・この薬を飲むことによって、パートナーの方へのB型肝炎ウイルス感染が避けられるということは証明されていません。このことについて患者さんは、十分

に理解できるまで説明をうけてください。

- ・妊婦または妊娠している可能性のある人は医師に相談してください。
- ・授乳している人は医師に相談してください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
血小板減少 けっしょうばんげんしょう	鼻血、歯ぐきの出血、あおあざができる、出血が止まりにくい
赤芽球癆 せきがきゅうろう	体がだるい、めまい、頭痛、耳鳴り、動悸（どうき）、息切れ
汎血球減少 はんけつきゅうげんしょう	めまい、鼻血、耳鳴り、歯ぐきの出血、息切れ、動悸、あおあざができる、出血しやすい、発熱、寒気、喉の痛み
白血球減少 はっけつきゅうげんしょう	突然の高熱、寒気、喉の痛み
好中球減少 こうちゅうきゅうげんしょう	突然の高熱、寒気、喉の痛み
貧血 ひんけつ	体がだるい、めまい、頭痛、耳鳴り、動悸、息切れ
横紋筋融解症 おうもんきんゆうかいしょう	手足のこわばり、手足のしびれ、脱力感、筋肉の痛み、尿が赤褐色になる
膵炎 すいえん	強い腹痛、背中での痛み、お腹が張る、吐き気、嘔吐（おうと）、体重が減る、喉が渇く、尿量が増える、皮膚が黄色くなる、油っぽい下痢が出る
乳酸アシドーシス にゅうさんアシドーシス	頭痛、眠くなる、意識の低下
脂肪沈着による重度の肝腫大（脂肪肝） しぼうちんちやくによるじゅうどのかんしゅだい（しぼうかん）	体がだるい、吐き気、食欲不振、発熱、腹痛、白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、体がかゆくなる、尿の色が濃くなる
ニューロパシー ニューロパシー	手足のしびれ、痛み、力が入らない、筋萎縮、手足のふるえ
錯乱 さくらん	注意力が散漫になる、問いかけに間違った答えをする、行動にまとまりがない
痙攣 けいれん	顔や手足の筋肉がぴくつく、一時的にボーっとする、意識の低下、手足の筋肉が硬直しガクガクと震える
心不全 しんふぜん	息苦しい、息切れ、疲れやすい、むくみ、体重の増加

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	脱力感、出血が止まりにくい、寒気、出血しやすい、体がだるい、突然の高熱、発熱、体重が減る、体がかゆくなる、痛み、顔や手足の筋肉がぴくつく、力が入らない、むくみ、体重の増加、疲れやすい
頭部	めまい、頭痛、意識の低下、眠くなる、一時的にボーっとする、注意力が散漫になる、問いかけに間違った答えをする、行動にまとまりがない
顔面	鼻血
眼	白目が黄色くなる
耳	耳鳴り
口や喉	喉の痛み、歯ぐきの出血、喉が渇く、嘔吐、吐き気
胸部	動悸、息苦しい、息切れ
腹部	お腹が張る、強い腹痛、食欲不振、腹痛
背中	背中での痛み
手・足	手足のこわばり、手足のしびれ、手足のふるえ、手足の筋肉が硬直しガクガクと震える
皮膚	あおざがでける、皮膚が黄色くなる
筋肉	筋肉の痛み、筋萎縮
便	油っぽい下痢が出る
尿	尿量が増える、尿の色が濃くなる、尿が赤褐色になる

【この薬の形は？】

形状	だ円型の錠剤		
	 表面	 裏面	 側面
直径	長径：11.5mm 短径：5.5mm		
厚さ	3.6mm		
重さ	230mg		
色	うすいだいだい褐色		
識別コード	G X C G 5		

【この薬に含まれているのは？】

有効成分	ラミブジン
添加物	結晶セルロース、デンプングリコール酸ナトリウム、ステアリン酸マグネシウム、ヒプロメロース、酸化チタン、マクロゴール 400、ポリソルベート 80、黄色三二酸化鉄、三二酸化鉄

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：

グラクソ・スミスクライン株式会社 (<http://jp.gsk.com>)

カスタマー・ケア・センター

電話：0120-561-007

受付時間：9時～17時45分（土、日、祝日および当社休業日を除く）